

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

Business Report

第96期 中間 報告書

2024.4.1-9.30

P.01-03 トップインタビュー

P.04-06 トピックス

P.07-08 連結財務情報

P.09-10 葬祭施設ネットワーク・会社概要



燦ホールディングス株式会社

葬儀事業の拡大と ライフエンディングサポート事業の拡充を基軸に 超高齢社会の課題解決に貢献いたします。

2025年3月期第2四半期連結決算は、営業収益111億86百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益15億34百万円(前年同期比8.2%減)、経常利益15億64百万円(前年同期比7.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益9億43百万円(前年同期比13.1%減)の増収減益、営業利益率は13.7%(前年同期比2.4pt減)となりました。

また、2022年4月設立の葬祭会社「(株)グランセレモ東京」(株)広済堂ホールディングス51%、当社49%出資の合弁会社)に係る持分法による投資損益は25百万円と堅調にしております。

さらに2024年9月に(株)きずなホールディングスの連結子会社化を実施いたしました。

グループ葬祭各社の葬儀施行収入は、前年同期比7.6%の増収です。葬儀の小規模化に伴い葬儀施行単価が前年同期比1.8%低下する一方で、葬儀施行件数は前年同期比9.6%増加しました。葬儀に付随する商品の販売やサービス提供による収入は、前年同期比増収となりました。

費用については、将来の新規出店に伴う葬儀件数の増加、売上拡大に備えた人員体制強化ならびに賃金ベアのための人件費増加、新規会館出店に伴う運営経費の増加により、営業費用は前年同期比7.8%増加しました。販売費及び一般管理費は、人件費ならびに、きずなホールディングスの公開買付に伴う関連諸費用の増加と、基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費の増加等により前年同期比39.4%増加しました。



代表取締役会長

野呂裕一



代表取締役社長

播島 聡

自社会館251館を展開する 日本最大の上場專業葬儀事業会社へ

当社は2032年に迎える創業100年に向けて、当社グループが進むべき方向、ありたい姿を定めた「新10年ビジョン」において「葬儀事業の拡大」および「ライフエンディングサポート事業の拡大」を掲げ、今期(2024年度)が「中期経営計画(2022~2024年度)」の最終年度にあたります。

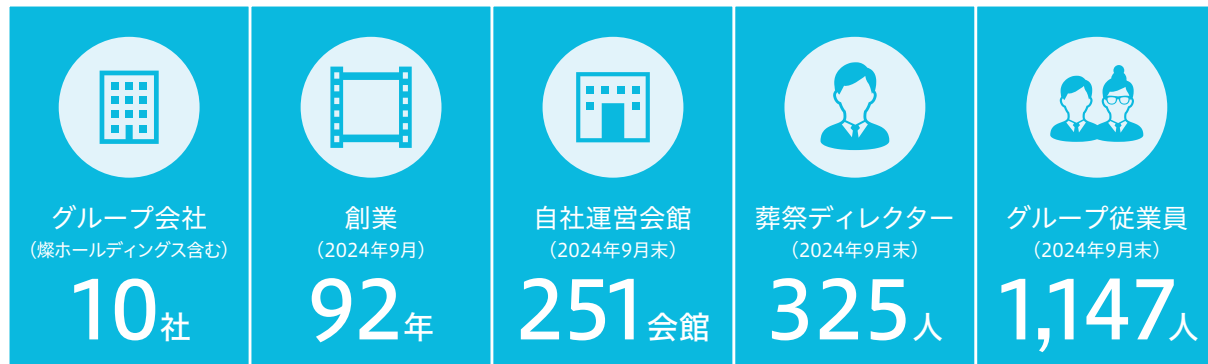
中期経営計画の重点項目である「葬儀事業の拡大」につきましては、「リーズナブルでありながら高い品質のサービス」を提供する家族葬ブランド「エンディングハウス」事業を中心に展開しております。今期は、「エンディングハウス 今里」(大阪市東成区)、「エンディングハウス 大正」(大阪市大正区)、「エンディングハウス 北葛飾」(東京都江戸川区)、「エンディングハ

ウス 相模原中央」(神奈川県相模原市)、「エンディングハウス 市川平田」(千葉県市川市)の5会館をオープンいたしました。2025年3月期の新規出店は16店舗を計画し「エンディングハウス」を中心に11店舗がオープンまたはオープン見込みです。

さらに連結子会社となったきずなホールディングスは、グループとして葬儀会社の(株)家族葬のファミリー、(株)花駒、(株)備前屋を傘下に、11道府県で155ホールを展開しており、今回の統合により当社の事業展開エリアは、北海道から九州まで15都道府県に広がり、日本全国で多くの安心と信頼のサービス提供が可能になりました。これにより当グループの葬儀取扱い件数はおよそ年間30,000件、自社会館数は251会館となり、日本最大の上場專業葬儀事業会社になります。

ライフエンディングサポート事業につきましては、ライフフォワード(株)が運営する終活のポータルサイト「みんなが選んだ

数字で見る燦ホールディングスグループ



終活」を介した商品・サービスの提供と、これまでもグループ葬儀各社が提供してきた、葬儀前後のサポートサービスが売上を順調に伸ばしております。また、エクセル・サポート・サービス(株)によるリハビリ特化型デイサービス施設「ポシブル」および高齢者施設での食事提供サービスにつきましても、今後も施設数の増加および営業エリア拡大を図ってまいります。

さらに、2024年5月15日より近畿エリアで発売を開始した、「喪主のいらないお葬式」は、おひとりさまや将来に不安を抱えるおふたりさまのライフエンディングをサポートする商品となっております。葬儀社と行政書士・司法書士事務所がチームを組み、「公益社の葬祭サービス」と「法務サービスやアフターサポート」の二つを組み合わせたセットプランです。2024年10月22日からは首都圏でも発売を開始しております。

新10年ビジョンの実現へ向け グループの総力を挙げて取り組みます

当社グループは、2022年5月12日に中期経営計画を発表以来、その達成に向け事業を進め、同時に事業拡大を通じて企業価値を高め、高付加価値・高品質のサービス提供によって社会に貢献する、日本一満足・感動いただけるサービスを志しております。そのための経営基盤の強化と、人材採用と育成によるグループの総合力強化、多様・高度な人材が活躍し変革していく制度設計と教育体制の構築、グループ全体での経営効率

化の推進、またESG経営を強力に推進しております。

なお、2025年3月期連結の通期業績予想は、2024年5月公表の営業収益243億円(前期比8.3%増)、営業利益38億200万円(前期比0.8%増)、経常利益38億300万円(前期比0.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益24億500万円(前期比3.7%増)の見通しとしております。当中間連結会計期間に、きずなホールディングスの株式を取得したため同社を連結の範囲に含めておりますが、みなし取得日を2024年8月31日とし、かつ、中間連結決算日との差異が3カ月を超えないことから、当中間連結会計期間では貸借対照表のみを連結しております。本件が連結業績予想に与える影響は精査中です。準備が整い次第、速やかに開示をいたします。

ご支援くださる株主の皆様へ

株主の皆様への利益還元は当社の重大課題です。剰余金の配当につきましては、連結業績および手元資金の状況、中長期的な成長投資のための内部留保の確保、財務の健全性等を総合的に勘案し、これからも安定配当を基軸に増配に努めてまいります。2025年3月期第2四半期配当は12円、期末配当予想は12円、2025年3月期の年間配当予想は24円です。

株主の皆様には、今後とも相変わらぬご指導ご鞭撻と末永いご支援をよろしくお願い申し上げます。

きずなホールディングスと経営統合いたしました

2024年9月付で(株)きずなホールディングスの連結子会社化を実施いたしました。きずなホールディングスは、1日1組限定の家族葬会館「家族葬のファミーユ」を中心に、11道府県で155ホールを展開しております。

経営統合の背景のひとつに、葬儀業界を取り巻く事業環境や、消費者のお葬式に対する考え方、価値観が大きく変化していることがあげられます。私たちは、日本人が

大切にしてきた葬送・供養の文化と、家族や祖先、人とのつながりを大切にする文化を、これからも守りたいと考えました。今後はより一層、葬儀事業会社・ライフエンディングサポート事業会社として、質の高いサービスを提供いたします。両社で新たな価値を創出し、超高齢社会における課題や問題の解決に取組み、社会に貢献していくことを目指します。



株式会社きずなホールディングス
KIZUNA HOLDINGS



お葬式を家族のものに。
家族葬のファミーユ



株式会社花駒



株式会社 備前屋

株式会社きずなホールディングス

所在地	東京都港区浜松町2丁目2-12 JEI浜松町ビル2階
設立	2017年6月
会館数	155ホール(2024年9月末時点)
2024年5月期売上高	121億円



統合シナジー 日本最大の上場専門葬儀事業会社として、さらなる成長へ

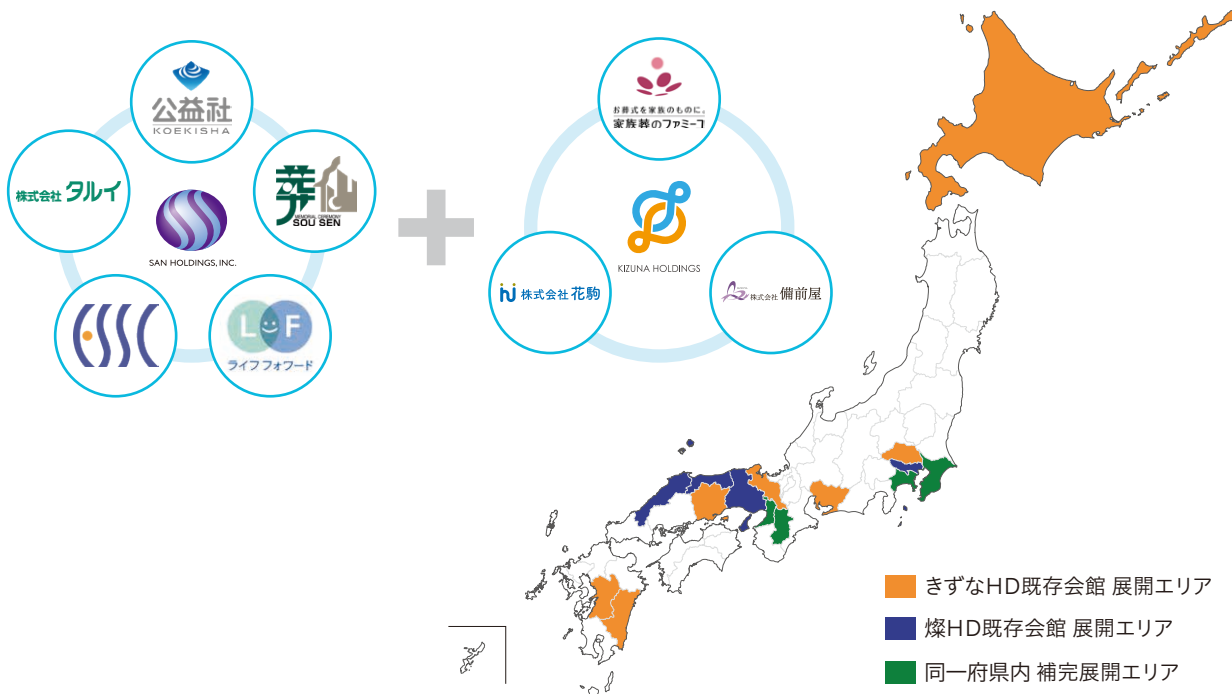
今回の統合によって事業展開エリアは、北海道から九州まで15都道府県に広がり、日本全国で多くの安心と信頼のサービス提供が可能になります。両社の葬儀取扱い件数はおよそ30,000件、自社会館は251会館になります。日本最大の上場専門葬儀事業会社として、さらなる成長をしております。

加えて、きずなホールディングスは日本における家族葬においてパイオニアです。非常に高いプレゼンスと、優れた

ノウハウを有しています。燦ホールディングスは2023年より家族葬に特化した新葬儀ブランド「エンディングハウス」を立ち上げており、両社の協業により家族葬のサービスやオペレーションのノウハウ、人材を活用することが可能になります。今後、お客様それぞれの価値観にあった家族葬、高い付加価値のサービス、ならびにライフエンディングサポートの提供を行ってまいります。

15都道府県 251会館

両社の年間葬儀取扱い件数:約30,000件





2024年4～9月オープン 新施設の紹介

東京都 9月 エンディングハウス 北葛西

東京都江戸川区北葛西2-23-13

・都営地下鉄新宿線「船堀駅」徒歩約12分

大阪府 5月 エンディングハウス 今里

大阪府大阪市東成区大今里南4-2-5

・大阪メトロ千日前線「新深江駅」徒歩約1分
・近鉄大阪線・奈良線「今里駅」徒歩約8分

神奈川県 9月 エンディングハウス 相模原中央

神奈川県相模原市中央区千代田3-1-20

・JR横浜線「相模原駅」下車、神奈中バス「千代田一丁目」すぐ

大阪府 8月 エンディングハウス 大正

大阪府大阪市大正区三軒家東6-8-14

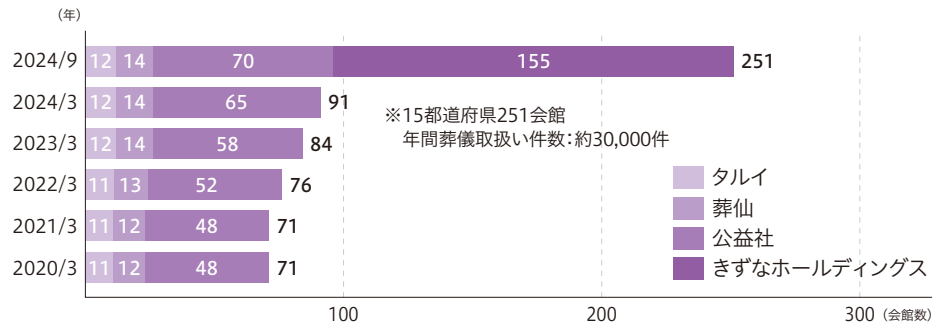
・JR大阪環状線/大阪メトロ長堀鶴見緑地線「大正駅」徒歩約13分

千葉県 9月 エンディングハウス 市川平田

千葉県市川市平田1-9-5

・都営地下鉄新宿線「本八幡駅」A5出口 徒歩約6分
・京成本線「京成八幡駅」徒歩約8分
・JR総武線「本八幡駅」北口 徒歩約10分

当社グループの 会館数推移



連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年9月30日)		前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
〔資産の部〕			〔負債の部〕		
流動資産	11,835	10,176	流動負債	3,636	15,791
現金	9,789	7,994	営業未収金	1,029	1,204
営業未収金	1,362	1,347	短期借入金	-	10,400
商品及び製品	137	177	1年以内返済予定の長期借入金	-	1,454
その他	547	658	リース債務	88	186
固定資産	25,750	46,558	その他	2,519	2,547
有形固定資産	22,524	30,877	固定負債	1,071	7,110
建物及び構築物(純額)	9,859	15,555	長期借入金	-	4,538
土地	12,250	13,049	リース債務	168	1,053
リース資産(純額)	230	1,425	資産除去債務	561	1,163
その他(純額)	183	846	その他	342	356
無形固定資産	799	12,080	負債合計	4,708	22,902
のれん	233	11,324	〔純資産の部〕		
その他	566	756	株主資本	32,877	33,631
投資その他の資産	2,426	3,600	資本金	2,568	2,568
資産合計	37,585	56,735	資本剰余金	5,505	5,488
			利益剰余金	27,030	27,471
			自己株式	△2,226	△1,896
			非支配株主	-	201
			純資産合計	32,877	33,832
			負債純資産合計	37,585	56,735

資産の部

(株)きずなホールディングスの連結子会社化に伴い、主に建物及び構築物が56億96百万円、のれんが110億90百万円増加しました。

負債の部

主に、きずなホールディングスの連結子会社化に伴い短期借入金が104億円、1年以内返済予定の長期借入金が14億54百万円増加しました。

純資産の部

主に、剰余金の配当2億48百万円を支払ったことおよび、非支配株主持分の増加2億1百万円によるものです。

連結財務諸表について

きずなホールディングスのみなし取得日を2024年8月31日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3カ月を超えないことから、当中間連結会計期間では貸借対照表のみを連結しております。

営業収益

葬儀の小規模化に伴い葬儀施行単価が前年同期比1.8%低下する一方で、葬儀施行件数は前年同期比9.6%増加しました。葬儀に付随する商品の販売やサービス提供による収入は、料理販売と不動産仲介等の手数料収入を中心に前年同期比増収となりました。

営業費用・販売費及び一般管理費

将来の新規出店に伴う葬儀件数の増加、売上拡大に備えた人員体制強化のため、ならびに賃金のベースアップのため人件費増加、新規会館出店に伴う運営経費の増加により、営業費用は前年同期比7.8%の増加となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費ならびに、きずなホールディングスの公開買付に伴う関連諸費用の増加と、基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費の増加等により前年同期比39.4%増加となりました。

営業利益

持株比率の向上のための計画的な買付投資の実施により、15億54百万円と前年同期比8.2%の減益となりました。

Consolidated Financial Highlights

連結業績の推移

第2四半期 第4四半期

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 〔2023年4月1日～ 2023年9月30日〕	当第2四半期連結累計期間 〔2024年4月1日～ 2024年9月30日〕
● 営業収益	10,407	11,186
● 営業費用	7,991	8,614
● 営業総利益	2,415	2,571
● 販売費及び一般管理費	744	1,037
● 営業利益	1,671	1,534
● 営業外収益	19	43
● 営業外費用	7	13
● 経常利益	1,684	1,564
● 特別利益	-	0
● 特別損失	12	5
● 税金等調整前中間純利益	1,671	1,559
● 法人税、住民税及び事業税	546	532
● 法人税等調整額	38	82
● 親会社株主に帰属する中間純利益	1,085	943

連結キャッシュ・フロー計算書

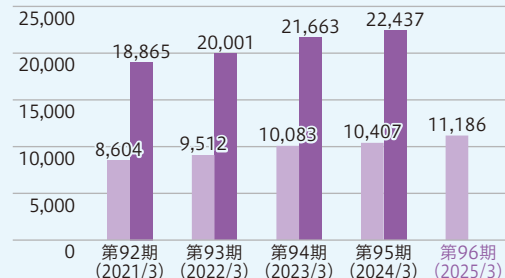
(単位:百万円)

	前中間連結累計期間 〔2023年4月1日～ 2023年9月30日〕	当中間連結累計期間 〔2024年4月1日～ 2024年9月30日〕
● 営業活動による キャッシュ・フロー	783	1,252
● 投資活動による キャッシュ・フロー	△432	△12,746
● 財務活動による キャッシュ・フロー	△609	9,696
● 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△258	△1,798
● 現金及び現金同等物の 期首残高	9,179	9,748
● 現金及び現金同等物の 中間期末残高	8,921	7,950

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

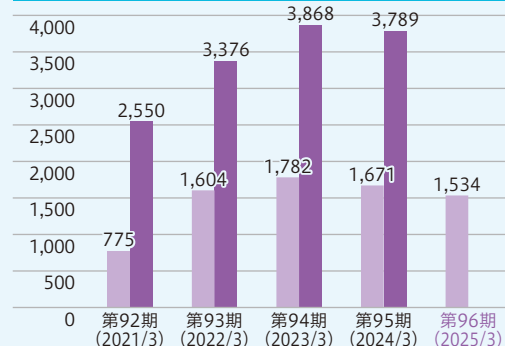
営業収益

(単位:百万円)



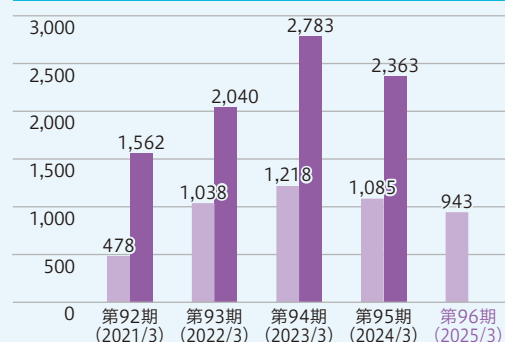
営業利益

(単位:百万円)



中間(当期)純利益

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

葬祭施設ネットワーク

2024年9月30日現在

	<p>公益社(首都圏) ☎ 0120-347-556</p> <hr/> <p>東京都 : 14会館 神奈川県: 3会館</p> <p>.....</p> <p>公益社(近畿圏) ☎ 0120-567-701</p> <hr/> <p>大阪府: 27会館 奈良県: 4会館 兵庫県: 8会館</p>		<p>タルイ ☎ 0120-365-365</p> <hr/> <p>兵庫県: 12会館</p>
<p>ENDING HAUS.</p>	<p>エンディングハウス ☎ 0120-13-6000</p> <hr/> <p>東京都: 3会館 大阪府: 7会館 神奈川県: 2会館 千葉県: 2会館</p>		<p>花駒 ☎ 0120-24-8750</p> <hr/> <p>京都府: 7ホール 大阪府: 1ホール 奈良県: 3ホール</p>
	<p>葬仙 ☎ 0120-444-200</p> <hr/> <p>鳥取県: 10会館 島根県: 4会館</p>		<p>備前屋 ☎ 0120-245-788</p> <hr/> <p>岡山県: 9ホール</p>

会社概要 2024年9月30日現在

商号 燦ホールディングス株式会社
 本社所在地 大阪本社
 〒530-0041
 大阪府大阪市北区天神橋4丁目6番39号
 東京本社
 〒107-0062
 東京都港区南青山1丁目1番1号
 新青山ビル西館14階

創業 1932(昭和7)年8月

資本金 25億6,815万円

事業内容 持株会社事業
 不動産事業
 管理業務受託事業

グループ会社 葬儀事業およびライフエンディングサポート事業

株式会社公益社 <首都圏・近畿圏>

株式会社葬仙

株式会社タレイ

きずなホールディングス株式会社

株式会社家族葬のファミーユ

株式会社花駒

株式会社備前屋

葬儀関連事業およびライフエンディングサポート事業

エクセル・サポート・サービス株式会社

警備業および施設管理・清掃業・料理事業

飲食事業・介護事業

ライフフォワード株式会社

ライフエンディングサポート事業

役員 2024年6月25日現在

代表取締役会長 野呂 裕一

代表取締役社長 播島 聡

取締役専務執行役員 宮島 康子

取締役執行役員 横田 善行

取締役(社外) 横見瀬 薫

取締役(社外) 友野 紀夫

常勤監査役 秦 一二三

監査役(社外) 本間 千雅

監査役(社外) 三上 祐人

専務執行役員 小林 大介

常務執行役員 築井 伸司

常務執行役員 北条 崇

執行役員 的羽 元司

執行役員 山本 浩

執行役員 高松 英樹

執行役員 鎌田 真紀子

経営理念 2019年4月制定

人生に潤いと豊かさを。
 よりよく生きる喜びを。

パーパス 2022年4月制定

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
 ライフエンディングパートナー

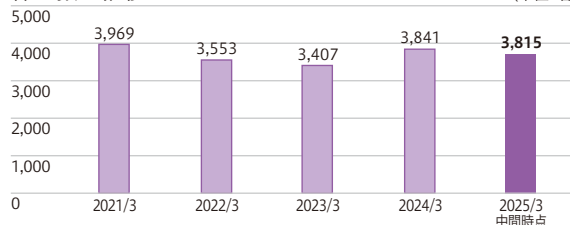
株式の状況 2024年9月30日現在

発行可能株式総数 84,000,000株

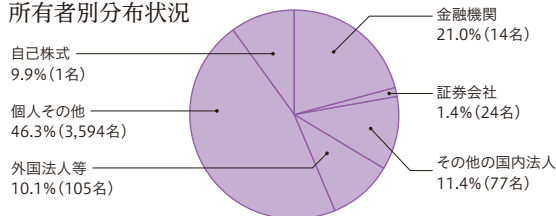
発行済株式の総数 23,000,000株(自己株式を含む)

株主数の推移

(単位:名)



所有者別分布状況





<https://www.san-hd.co.jp>

当社のホームページにおきましても
IR情報および会社情報をお知らせしております。



<https://www.san-hd.co.jp/ir/finance/chart.html#gyouseki1>

直近10年間の通期貸借対照表 主要項目の推移について、
当社HP「チャートジェネレーター」にてご確認くださいませ。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

株主メモ

証券コード/9628
事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会/毎年6月
基準日/定時株主総会 毎年3月31日
/期末配当金 毎年3月31日
/中間配当金 毎年9月30日(その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。)

単元株式数/100株
株主名簿管理人および/〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人/〒540-8639 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先/〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先/☎0120-782-031
インターネットホームページURL/<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
公告方法/電子公告

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

※この冊子についてのお問い合わせは、下記IR専用電話番号までお願いいたします。

お問い合わせ先 IR担当/TEL.06-6226-0038 FAX.06-6881-3340

E-mail ir@san-hd.co.jp



UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。